

第156回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年3月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,757	-2.38	-0.72	4,018	-0.96	-0.42
東部地区	14,327	1.14	-0.29	5,609	1.88	-0.05
西部地区	10,830	0.24	-0.26	4,008	0.88	-0.27
駅南地区	6,404	0.62	-0.38	2,679	2.01	-0.48
半田地区	3,582	1.32	-0.55	1,330	3.02	-0.37
横山地区	5,659	0.39	-0.14	1,839	0.32	-0.37
茨目・田尻地区	6,956	1.42	-0.34	2,318	1.89	-0.47
荒浜地区	5,157	-1.09	-0.15	2,006	-0.64	-0.04
その他地区	21,163	-1.53	-0.22	7,175	-0.04	0.11
西山町地区	6,359	-2.13	-0.56	2,138	-0.65	-0.18
高柳町地区	1,980	-2.65	-0.20	837	-1.64	0.00
柏崎市計	92,174	-0.45	-0.34	33,957	0.58	-0.18
刈羽村	4,945	-0.46	-0.10	1,543	1.24	0.06
小国地区（長岡市）	6,505	-1.07	-0.03	2,159	0.37	0.13
出雲崎町	5,284	-0.82	-0.37	1,822	-0.32	-0.10
合計	108,908	-0.51	-0.31	39,481	0.55	-0.15

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で421人、0.45％、刈羽村で23人、0.46％、小国地区（長岡市）で71人、1.07％、出雲崎町で44人、0.82％とそれぞれ減少し、全体では559人、0.51％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で316人、0.34％、刈羽村で5人、0.10％、小国地区で2人、0.03％、出雲崎町で20人、0.37％と減少したことから、全体では343人、0.31％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で6世帯、0.32％と減少したものの、柏崎市で197世帯、0.58％、刈羽村で19世帯、1.24％、小国地区で8世帯、0.37％と増加した結果、全体では218世帯、0.55％の増加となった。

また、前月比では、刈羽村で1世帯、0.06％、小国地区で3世帯、0.13％と増加したが、柏崎市で64世帯、0.18％、出雲崎町で2世帯、0.10％と減少し、全体では62世帯、0.15％の減少となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	729		-41.25		-7.72	
月間有効求職者	1,852		77.73		12.24	
月間有効求人倍率	0.39	0.39	-0.80*	-0.42*	-0.09*	-0.04*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が790人と前年同月比で511人、39.27％の大幅な減少、前月比でも74人、8.56％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,650人と前年同月比で650人、65.00％の大幅な増加、前月比でも193人、13.24％の大幅な増加となった。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.48倍と前年同月比で0.82ポイント下回り、前月比でも0.11ポイント下回るなど、大幅に悪化している。なお、県平均0.43倍に対しては0.05ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が344人と前年同月比で124人、26.50％の大幅な減少となった反面、月間新規求職者数は479人と前年同月比で167人、53.53％と大幅に増加した結果、月間新規求人倍率は0.72倍となり、前年同月の1.50倍に対しては0.78ポイントと大幅に悪化している。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年3月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	49	-111	11	870	125
共 同 住 宅	1	0	1	7	-6
事 務 所	1	-2	-1	11	-4
作 業 所 ・ 工 場	0	-4	-1	18	-12
営 業 建 物	1	-1	-2	30	7
公 共 建 物	0	0	0	1	-1
そ の 他	7	-6	-1	121	4
合 計	59	-124	7	1,058	113

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が59件と前年同月比で124件の大幅な減少となったが、前月比では7件の増加となっている。工種別での主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で111件の大幅な減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が34件、増築が16件、改築が9件となっている。また、一般住宅（併用）49件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が28件

（うち新築18件、増築7件、改築3件）、市外施工業者が21件（うち新築14件、増築1件、改築6件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,372	-0.58	-0.13	23,712	1.70	-6.85
電 力	11,442	-3.09	-0.69	35,636	-24.76	-0.31

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で383口、0.58%の減少、前月比でも88口、0.13%と減少している。一方、電力も前年同月比で365口、3.09%の減少、前月比でも80口、0.69%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で398千kwh、1.70%の増加となったものの、前月比では1,746千kwh、6.85%と減少している。一方、電力においては前年同月比で11,728千kwh、24.76%の大幅な減少、前月比でも114千kwh、0.31%と減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,647,387	-11.43	-12.10	619,897	-4.52	-10.65
営 業 用	285,068	-6.94	-12.01	104,737	-11.41	-9.03
工 場 用	573,515	-18.32	-3.17	132,864	-3.76	-2.48
官 公 学 校 用	639,460	9.91	-8.13	76,950	5.05	-1.57
そ の 他				18	-35.71	-51.35
合 計	3,145,430	-8.84	-9.78	934,466	-4.53	-8.69

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で305,066m³、8.84%の減少、前月比でも341,332m³、9.78%と大幅に減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用を除くすべての用途で減少しており、前月比ではすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においても、前年同月比で44,410m³、4.53%の減少、前月比でも88,952m³、8.69%の減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用を除くすべての用途で減少しており、前月比ではすべての用途で減少となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	80,890	-3.08	17.13	85,274	-2.53	19.38
西 山	46,735	-9.14	13.94	42,973	-7.89	13.85
米 山	21,413	-4.53	26.01	20,249	-4.35	26.26
合 計	149,038	-5.27	17.28	148,496	-4.39	18.59

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で8,298台、5.27%の減少となったものの、前月比では21,969台、17.28%と大幅に増加している。一方、出口においても、全体では前年同月比で6,830台、4.39%の減少、前月比では23,287台、18.59%の大幅な増加となっている。インター別で見ると、前年同月比ではすべてのインターで入口・出口ともに減少したのに対し、前月比ではすべてのインターの入口・出口で大幅に増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	360,694	3.22	1.83	153,917	4.94	-1.29
平 残	349,682	1.12	0.55	152,306	1.20	0.42

預金は、末残が前年同月比で11,281百万円、3.22%の増加、前月比でも6,490百万円、1.83%の増加となった。平残は前年同月比で3,879百万円、1.12%の増加、前月比でも1,925百万円、0.55%と増加している。一方、貸出金においては、末残が前年同月比で7,255百万円、4.94%の増加となったものの、前月比では2,012百万円、1.29%と減少している。また、平残は前年同月比で1,811百万円、1.20%の増加、前月比でも642百万円、0.42%の増加となった。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,411	3.55	16.41
交 換 金 額	5,350	25.60	27.60
不 渡 り 手 形 枚 数	8	700.00	-42.85
不 渡 り 手 形 金 額	3	320.37	-60.38

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で186枚、3.55%の増加、前月比では、前月末日の休日要因から763枚、16.41%と大幅に増加している。また、交換金額でも前年同月比で1,090百万円、25.60%の増加、前月比では同様に1,158百万円、27.60%と大幅な増加となっている。なお、不渡手形は8枚、3百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産7件（前年同月5件、前月6件）、負債総額12億円（同19億円、同38億円）、1件当たりの負債額1億円（同3億円、同6億円）となっている。地区別では下越地区で5件（新潟市3件、燕市1件、新発田市1件）、中越地区で1件（三条市1件）、上越地区で1件（糸魚川市1件）発生している。業種別は建設業2件、製造業3件、販売業1件、運送業1件となっており、倒産原因については、販売不振が5件、その他が2件となっている。

当月の企業倒産は7件、負債総額で12億円と前年同月比では件数で2件増加、負債総額では7億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、急速な悪化が続いており、雇用情勢の悪化や個人消費の一段の低迷などから、企業の景況感も悪化幅が拡大し、先行きについては、当面、厳しい状況が続くものと思われる。